



ダイヤモンド
シティ
小美玉
見つける。
みがく。
光をあてる。

小美玉の今を伝えるマガジン

広報

おみ
たま

第178号

2021年
January

1

contents

新年のごあいさつ	2-3
[特集] わたしの「おみたま暮らし」	4-7
わだい	8-10
TOPICS	11-14
四季の歌	15
4コマ小美玉暮らし	16

Special Feature

わたしの「おみたま暮らし」



広報
おみたま
第178号



小美玉市長 島田 穰一

新年あけましておめでとございます。
います。

皆様におかれましては、輝かしい
新春をお健やかに迎えのことと
お慶び申し上げます。旧年中は、
市政運営にご理解ご協力を賜り、
心より感謝申し上げます。

感染症対策・経済対策を全力で

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の皆様
の生活スタイルが一変した年となりました。現在も、新しい生活様式が
徐々に浸透していく中で、皆様には感染拡大防止策の徹底をお願い



展する年に



今月の表紙



玉里地区に住む相澤さん家族。休みの日は子どもたちと一緒に小美玉の街や自然を散策しに出かけているそう。「うちの子たちは自然と触れ合うのが好きなので、田んぼに入ったり小川でザリガニ釣りをしたりと、自分が子どもころと同じようなことをして一緒に遊んでいます」

特集記事取材・撮影
広報おみたま取材チーム

の新たな交流が生まれることを大いに期待しております。

また、羽鳥駅周辺につきましては、昨年完成した橋上駅舎に続き、東口・西口それぞれの駅前広場の整備を3月末の完成を目指し進めております。

教育環境の整備

「玉里学園義務教育学校」が、市内初の義務教育学校として4月に開校を迎えます。また、「小川北義務教育学校」は、昨年、校舎建設工事に着手し、令和4年4月の開校に向け整備を進めているところです。加えて、市内の小中学校では、少人数学級や、幼小連携といった市独自の施策を実施するなど、引き続き、教育を優先したまちづくりに努めてまいります。

しています。市としても、引き続き、感染症対策及び経済対策に全力で取り組んでまいりる所存です。

また、医療従事者の皆様には、感染へのリスク、ご家族の心配、多忙な業務など多くの不安を抱えながらも職務を遂行されておりますことに、改めて敬意を表します。

魅力を掘り起こし、光を当てる

第2次総合計画のもと、『ひともの 地域』が輝き はばたくダイヤモンドシティ ー見つける。みがく。光をあてる。』をまちづくりの将来像として、多くの方の知恵や力を集結し、市内にある様々な魅力を掘り起こし、光を当てて輝かせていくまちとなるよう、市民の皆様や各種団体、事業者とともに連携を深めながら各種施策に取り組んでいるところです。

空港アクセス道路・羽鳥駅周辺

重点事業である「茨城空港アクセス道路」は、今年、全線開通することにより、茨城空港へのアクセス時間の大幅な短縮による利便性の向上につながることも、周辺地域の産業・経済が活性化し、市内外



牛のように着実な歩みで発展を

本市は、霞ヶ浦から望む「ダイヤモンド筑波」をはじめ、桜並木やコスモス畑などの豊かな自然に加え、県内で生産量トップクラスの生乳を使用した乳製品、農業産出額日本一である鶏卵など、酪農や畜産が盛んで、れんこん・ニラ・イチゴ・ブルーベリーなど、農産物も彩とりどりに生産されています。

本年も、こうした恵まれた地域資源と、まちづくりの基礎となる人的資源を最大限生かしながら、「住んでみたい 住んで良かった これからも住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを推進してまいります。

堅実で真面目に物事を進め、成長を続けることができるポテンシャルの高い生き物と言われている、本年の干支「丑」のように、市政運営につきましても、しっかりと歩み進展していく年にしたいと考えておりますので、引き続き、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして、さらに飛躍できる素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。



おみたま暮らし
新成人が語る
新たな時代の

New Generation

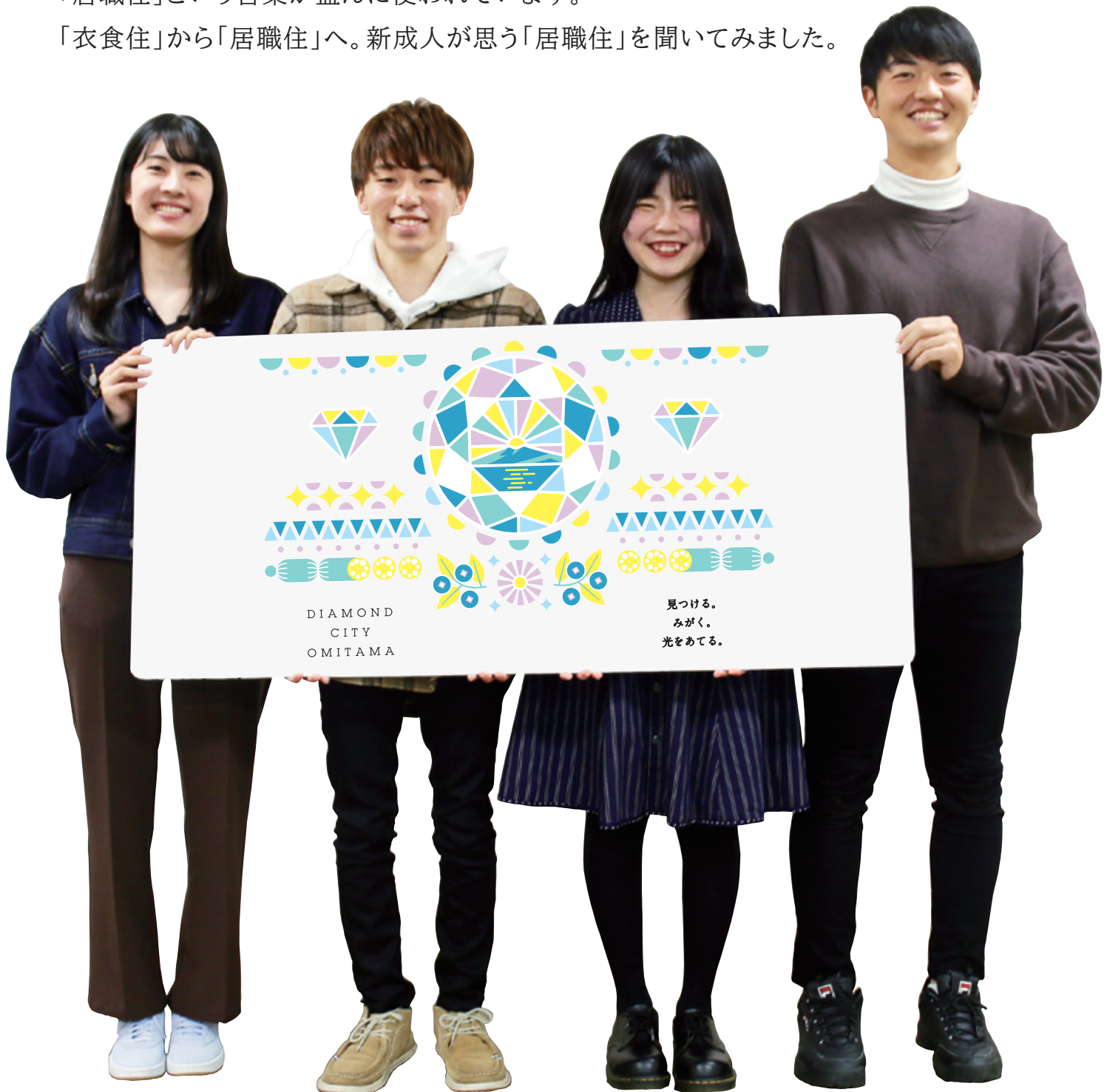
居職住

居:居場所、コミュニティ 職:仕事、働くこと 住:家、住む場所

近年、移住希望者にとって大切な3つの要素として

「居職住」という言葉が盛んに使われています。

「衣食住」から「居職住」へ。新成人が思う「居職住」を聞いてみました。





令和2年度成人式実行委員会

(後列左から)植田巨亮さん、笹目心之介さん、井川 涼さん、谷田部雅生さん、本田浩二郎さん、石黒歩さん
 (中段左から)谷貝将太郎さん、八島由依さん、赤岡未奈美さん、千葉未夢さん、内田 魁さん、村山鷹矢さん、小沼大地さん
 (前列左から)田村葵乃さん、齋藤友里菜さん、斉藤夢宙さん、君山吏李圭さん、木名瀬咲希さん、菊池鈴音さん、井坂慎悟さん



田村 葵乃さん
小川北中出身

来年から保育士になります。地元から通えるところで探しました。都内は遊びに行くところ。都市的すぎず、田舎すぎない感じが小美玉のいいところだと思います。ダイヤモンドシティのロゴが可愛くていいですね。小美玉を有名にしたいです。



千葉 未夢さん
小川南中出身

都内の大学に地元から通っています。先日、小川のまちなかを歩いていて、改めていいところだなと思いました。都内に日帰りで行ける距離でありながら、程よく自然が残る小美玉に住み続けたいと思っています。おしゃれなカフェとか増えたら嬉しいです。



谷田部 雅生さん
美野里中出身

大学の都合で地元を離れていますが、小美玉に帰ってくると、早朝の空気が澄んでいることに気づかされます。野球を通して自分を育ててくれた、地域の人たちへの恩返しの意味を込めて、将来は地元で野球を教えたいです。



谷貝 将太郎さん
玉里中出身

小中学時代の友達が関東圏内に散らばっていますが、半年に一度は地元に戻ってきて集まり、お酒を飲んだり海に行ったりして遊んでいます。小美玉はご近所付き合いが残っているのがいいですね。声をかけてもらえるのが嬉しいです。

SNS連動企画

実行委員のメッセージを発信中！
 「わたし、おみたま(他の人に知らせたい、私を知る小美玉の魅力)」



わたしの「おみたま暮らし」

おみたまの暮らし体験談

小美玉市移住定住サイト「おみたま暮らし」

詳しくはこちら!

小美玉市への移住を経験したお二人が、それぞれの「おみたま暮らし」を語りました。記事全文はウェブサイトでご覧いただけます。



自然の中で子どもと遊ぶ休日



おみたま暮らし歴20年 相澤 博文さん

宮城県大崎市出身。大学卒業後、現在も勤める会社への就職を機に小美玉市へ。市内の機械部品メーカーで、試作品の製造を手掛ける。妻と4人の子どもたちの6人家族。



小美玉の景色は、田んぼが多い地元の風景と似ていて親近感がありました。市内には便利な駅前や市街地だけでなく、郊外の静かな場所、自然が多く景色を楽しめる場所など、環境が異なるエリアがありますよね。「会社に通いやすい場所がいい」という私と「落ち着いた住める場所がいい」という妻の希望を合わせ、玉里地区に自宅を構えました。

協力しています。子どもたちが自転車で乗れるようになったので、霞ヶ浦の堤防と一緒にサイクリングしたり、玉里地区の中を探検したりしています。子どもが生まれてから、趣味のモトクロスはバイク整備やレース観戦だけにして、走るのには控えていましたが、そろそろ再開できたらと思っています。子どもがバイクに興味を持ってくれたら、子ども用に調整して、一緒にコースに行きたいですね。

地域の子育て 今度は私が支えたい



玉里地区のご近所さんたちは、移り住んだ当初から、いつも気にかけてくれました。子どもが生まれてからは、幼児育児教室で同じ境遇のお母さんたちに出会って、仲良くなりました。子育てで大変な時期に助けてくれたのも、子育て中のお母さんたちでした。そのつながりで結成したのが、読み聞かせボランティア「おはなしテルテル」です。幼稚園や保育園、介護福祉施設などに訪

問し、読み聞かせ会を開催しています。自分の子育てが少し落ち着いてきましたが、これからもずっと子どもと関わる活動を続けたいです。今は共働きが多い時代なので、お母さんたちの大変さは私の頃以上かもしれません。公的な育児サポートに加えて、私たちの経験を生かした心のサポートもしていけたらと思っています。



おみたま暮らし歴22年 遠藤 康子さん

鳥取県米子市出身。自衛官の夫との結婚を機に小美玉市へ。夫と3人の子どもたち、トイプードルの6人家族。ママさん4人組の読み聞かせボランティア「おはなしテルテル」はライフワーク。





移住への関心が高まった コロナ禍

東京・有楽町のいばらき暮らしサポートセンターで、茨城へ移住を考えている方の相談にのったり、具体的なアドバイスをしたりする移住相談員をしています。

コロナ禍でテレワークが浸透し、移住への関心が高まっていて、県全体の相談件数が昨年の約2倍になりました。今の仕事をテレワークで続けながら、自然と触れ合える場所や広々とした家に住みたいという希望が増えています。

大切な「居・職・住」

移住先を選ぶ時の重要な要素に、「居（居場所やコミュニティ）・職（仕事・住（家）」があります。どれも生活の土台なので、希望者は慎重に自分に合う地域を探してい

ます。

「地域に溶け込んで、地域活動に貢献したい」という方は、移住する前に地域のお祭りやイベント、プロジェクトに関わりたいと考えています。何度も通ううちに知り合いが増え、そのつながりから家や仕事を決められたら、とても理想的。移住後のミスマッチが起きにくくなります。

人とのつながりが安心感に

地域に溶け込めるかは移住者の大きな不安の一つ。「茨城の人は親切な人が多いから、分らないことは声に出してみても」とアドバイスしています。困ったとき、近くに相談できる人がいると安心感があります。地域の皆さんも、初めは「どんな人なんだろう？」と不安かもしれません。お互いに声を掛けあって、みんなが参加しや

すい雰囲気を作ること、地域全体も活性化していくと思います。

移住が増える 可能性のあるまち

人口減少が進む中、いろいろな地域と関係性を持つことはもっと注目されていくでしょう。小美玉市は、ウェブメディア「タウンジャーナル小美玉」設立、移住促進事業「イフデザインプロジェクト」、中央高校と連携した授業など、関係人口（※）づくりに積極的に取り組んでいますよね。何より市民の皆さんが率先してまちの魅力を発信しようという姿勢は、移住促進の観点からも素晴らしいと思います。

市外に住みながら小美玉に関わる人が増えることは、将来的な移住者が増える可能性を秘めています。これからも小美玉市の皆さんの先進的な取り組みに注目していきます。

「住んでみたい」気持ちの種をまく 関係人口づくり

Interview インタビュー

いばらき暮らしサポートセンター
移住相談員

藤岡みのりさん

三重県出身。大学進学を機に茨城へ移り住み、常陸太田市で宿泊施設に就職。田舎暮らしに興味を持ち、日立市の中山間地域にある空き家を借りて住んだ経験をもとに、移住先での地域の人との関わり方についてもアドバイスしている。



「まずは賃貸で暮らし、改めて家の購入を考える『2段階移住』を希望する方も増えています」と藤岡さん。

※関係人口とは、「地域外に住む人のうち、地域に関わろうとする、ある一定以上の意欲を持ち、地域に生きる人々の持続的な幸せに資する存在」のこと。

出典：『関係人口』創出で地域経済をうるおす シティプロモーション2.0』／河井孝仁著

更生保護女性会会員が表彰されました

12月4日（金）に、小美玉市更生保護女性会の受彰者への伝達式が行われました。多年にわたり犯罪や非行の予防に関する取り組みを行うなど、地域に暮らす方々で支えあう社会環境の醸成に貢献されたことが認められての受彰です。皆さん、おめでとうございます。

茨城県知事感謝状	菅波道子さん(写真左)
水戸保護観察所長感謝状	戸田しげ子さん(写真右)
茨城県保護司会連合会長感謝状	久田敦子さん
茨城県更生保護女性会 連盟会長表彰	小沼麻里子さん 小仁所美江さん



問い合わせ 社会福祉課 ☎ 0299-48-1111（内線 3225）

みのりミニバスケットボールスポーツ少年団（女子） 県大会で初優勝

みのりミニバスケットボールスポーツ少年団（女子）が、11月に行われたミニバスケットボール県大会で初優勝を飾りました。

11月30日には選手たちが市長を訪問し、優勝報告をしました。「日頃の練習の成果が優勝に繋がりを、うれしいです。応援ありがとうございました。3月に予定されている全国大会に向けて、また練習に励みます」と今後の意気込みを語りました。皆さん、おめでとうございます。



問い合わせ スポーツ推進課 ☎ 0299-48-1111（内線 2253）

フォルム株式会社

◆本社

〒233-0066
横浜市港北区高田西 1-1-47
☎ 045-591-6001

◆茨城工場

〒311-3416
小美玉市与沢 1556-2
☎ 0299-54-0131

70回目のありがとうを乗せて

70th
Anniversary

フォルム 自動車部品 検索



棚一枚でもお気軽にどうぞ!

株式会社

笹光建設

〒311-3416 茨城県小美玉市与沢253-37
TEL 0299-54-0618 FAX 0299-54-0421

www.sasamitsu.co.jp/

ささみつ

検索

新築/増改築/小さなリフォームなど

県の審査で入選しました！ 令和2年度明るい選挙啓発ポスターコンクール

「明るく正しい選挙」啓発のため公益財団法人明るい選挙推進協会や、都道府県選挙管理委員会連合会などが主催する「明るい選挙啓発ポスターコンクール」で、小美玉市の児童生徒の作品が、茨城県の審査で入選しました。

市内の児童生徒が描いた作品の中から、市の選挙管理委員会が優れた作品を20点選考し、その中でも優秀な作品6点を県選挙管理委員会に推薦したところ、2点が見事に選ばれたものです。入選した皆さん、おめでとうございます。

県入選作品を含め応募された作品を下記の日程で展示します。皆さまお誘いあわせのうえご来場ください。

展示期間	1月20日（水）～1月31日（日） （月曜休館）
展示時間	9:00～22:00
展示会場	生涯学習センターコスモス 展示ホール （小美玉市高崎291-3）

問い合わせ

総務課 ☎ 0299-48-1111（内線 1275）

▼県入選作品



狩谷 紫桜さん（堅倉小5年）



杉浦 叶笑さん（小川南中2年）

国産畳表で安心・快適生活！

税別価格表示



畳表替

3,500円～

アミ戸張替

大サイズ
2,000円

障子張替

厚口紙 大サイズ
2,300円

襖貼替

2,500円～

謹賀新年

相川畳店

☎0299(26)0669
石岡市旭台 1-15-1

外壁・屋根…うちもそろそろかな…？

色々なところから営業が…
どこに頼めばいいの…？

そんなあなたも
お気軽にご相談下さい！
外装点検・お見積り無料



一級塗装技能士による住まいの塗り替え

(有)中嶋塗装工業

茨城県知事許可 第31532号 本社 石岡市半ノ木14159-5
中嶋塗装 検索 TEL0299-57-1641

新ごみ処理施設 霞台クリーンセンターみらい 火入れ式を行い安全祈願

令和3年4月から供用開始予定の新広域ごみ処理施設「霞台クリーンセンターみらい」で12月3日、施設稼働の安全を祈願する火入れ式があり、関係者が見守るなか、初めて焼却炉に火がともされました。

霞台クリーンセンターみらいは、小美玉市、石岡市、かすみがうら市、茨城町の4市町のごみを処理する施設として、霞台厚生施設組合環境センター敷地内（小美玉市高崎）に新たに建設されました。今後は試運転を行い、4月からのごみの受け入れ開始に向けて準備を進めます。



火入れ式



関係者が安全祈願を行いました

■4月からごみ処理手数料の一部が変わります

※変更箇所を太字で表示

項目	内容
可燃ごみ	指定袋 45L 10枚入り 200円 30L 10枚入り 150円 20L 10枚入り100円
粗大ごみ	シール券 廃止（美野里地区） ※粗大ごみシール券は、令和3年4月から使用できません
粗大ごみ（生活系）	全地区 大 1,000円 中 500円 小 300円
廃家電（4品目）	収集運搬費:1,500円（ 全地区 ） ※廃家電の処分には、別途、家電リサイクル券が必要です

詳細はホームページをご覧ください

手数料・分別情報 工事の進捗状況



問い合わせ

- ごみの処理に関すること 霞台厚生施設組合 ☎ 0299-26-0246
- ごみ処理手数料のこと 環境課 ☎ 0299-48-1111（内線 1144・1145）

幸せサイクルのお手伝い

学生服
売ります! 買います!

保育 幼稚園 中学校
小学校 高校



・学生服
・体操着等
取扱中!



小美玉店
営業時間 月～金 10:00～18:00
土曜 10:00～17:00
定休日 日曜・祝日
☎090-7007-7815

小美玉市堅倉1696-35 堅倉小学校前 井坂文具店内

サンドブラスト 職人体験

サンドブラスターを使って
グラスやステンレスボトルに
イラスト・文字を刻む
加工技術の体験ができます。



誰でも簡単! コース ¥1800～(税込)
体験時間: 約90分/当日持ち帰りOK/1グループ貸し切り制

株式会社アートフィールド
〒311-3413茨城県小美玉市山野1237-40
TEL 0299-58-5070 HP <https://artfield.info/>
mail sasya@voice.ocn.ne.jp



※カラーグラス制作例



お!みた!まちづくり まちづくり組織の活動をご紹介します

久しぶりの楽しい交流♪

玉里小学校区コミュニティ

ソフトボール大会 10/24

世代間交流球技大会 11/14

コロナ禍に負けないくらい熱い戦いがそこにはありました! 久しぶりに顔を合わせた交流は、キラキラ輝く笑顔であふれ、メンバー全員の思い出となりました。



ドッチビー

コロナ禍の中、工夫してイベントを実施♪

二本松町内会

在宅3世代交流会 11/21

家にいながら参加できる家族対抗のクイズ大会を企画! 「市や二本松に関するクイズ」に挑戦して、地域を学びながら家族みんなで楽しい時間を過ごしました。



審査風景

豊富な内容で地域が活性化♪

住みよい堅倉地区をつくる会

(コミュニティ)

かたから朝市 11/22

とれたての新鮮野菜、迫力あるみのり太鼓公演、楽しいミニゲーム、ドキドキの大抽選会! たくさんの方が会場である市役所駐車場に集まり盛大に実施されました。



そば配布

問い合わせ 市民協働課 ☎ 0299-48-1111 (内線 1253)



小美玉観光協会 第2回フォトコンテスト 小美玉市の素敵な写真を募集します

募集期間 2月26日(金)まで

テーマ 小美玉市って素敵だね!

問い合わせ (一社) 小美玉観光協会 ☎ 0299-37-1255

小美玉観光協会
フォトコンテスト



下水道に「雨水」は流せません

▶どうして雨水を下水道に流してはいけないの？

市の下水道(公共下水道・農業集落排水)は、家庭などからの汚水のみを流す「分流式下水道」です。

しかし、近年の雨天時に汚水量が増加しており、汚水処理に支障をきたしています。

その原因のひとつに、家の屋根や庭に降った雨水が誤って「污水管」に接続されている「誤接続」があります。

下水道の汚水処理能力は、計画汚水量に応じて整備されており、そもそも雨水流入は想定されていません。



▶雨水を流すとどうなるの？

雨水を污水管に流すと道路上のマンホールや宅地内で処理しきれなくなり、家庭からの汚水が流れなくなる等下水道の機能が低下してしまいます。



また、道路のマンホールから汚水が溢れるなど、重大な事故につながる危険性があります。改修工事については、市の指定工事店に依頼してください。

▶誤接続していないか確認を！

皆様のご家庭の下水設備(排水設備)の確認をぜひお願いします。

宅内配管の改修工事や、マスなどの取り替えにかかる費用は自己負担になりますが、早急に改修工事をしていただくようご協力をお願いします。

改修工事については、市の指定工事店に依頼してください。

問い合わせ 下水道課 管理係 ☎ 0299-48-1111(内線 2125・2126)

使用期限
1/31

まもなく期限が切れます！

お早めにご利用ください
小美玉市子育て世帯応援食事券
小美玉市高齢者応援食事券

新型コロナウイルス感染防止にご協力をお願いします

- ・長時間や大人数での飲食は控える
- ・箸やコップは使い回さず、一人ひとりで
- ・席の配置は斜め向かいに
- ・会話をする時は、なるべくマスク着用で
- ・体調が悪い時は、食事券の利用を控える

問い合わせ

- 子育て世帯応援食事券のこと 子ども課 ☎ 0299-48-1111 (内線 2243)
- 高齢者応援食事券のこと 介護福祉課 ☎ 0299-48-1111 (内線 3111)



小川文化センターアピオスの 耐震・改修工事が終了しました



大ホール客席



小ホールロビー



エレベーター



授乳室

令和元年9月から実施していた工事は令和2年12月に終了しました。リニューアルして色彩豊かなアピオスへのご来館をお待ちしています。

▶耐震改修

ホール天井とロビーや楽屋などの間仕切り壁の耐震改修を行いました。

▶大規模改修

38年間使用した大ホールの座席が新しくなりました。また、非常用自家発電設備や高架水槽の更新を行い、災害時の広域避難所としての機能を強化しました。

▶館内照明をLED化

イベントや会議など電気を多く使うため、照明をLED器具に取り替えて省エネルギーに対応した文化ホールになりました。

▶授乳室とエレベーターを新設

1階におむつ交換台やベビーベッド、調乳用温水器を備えた授乳室と、2階会議室の利用時に車いすの方も利用できるエレベーターを設置しました。

※本事業は防衛省防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を受けて整備しています。

ホームページは
こちらから



問い合わせ 小川文化センターアピオス ☎ 0299-58-0921



学校紹介 下吉影小学校



1__入学式 2__あいさつ運動 3__遠足(アクアワールド大洗水族館) 4__ミュージカル 5__ミュージカル 6__運動会
7__持久走記録会 8__稲刈り

下吉影小学校は、明治10年に創立した144年目の学校です。全校児童は52名です。子どもたちは、のびのびと、お互いに助け合って仲良く生活しています。学校は、豊かな自然に囲まれ、木の温もりのある校舎、広い運動場や冷暖房完備の体育館等、施設・設備も整っています。恵まれた環境の中、保護者の皆さまや地域の方々のご支援・ご協力を得て、小規模校のよさを生かした学習や学校行事に楽しく意欲的に取り組んでいます。

9月には運動会や稲刈り、10月には遠足や校外学習、11月には下吉祭り、12月には持久走記録会を行っています。今年度の下吉祭りでは全校ミュージカル「ピーターパン」を上演しました。児童が主役の表現活動を通して、自己肯定感や自己有用感を高めています。また、縦割り班で行う清掃活動や稲刈り、わくわくタイムの遊びでは、上級生が下級生の面倒をみたり仕事を教えたりして協力し合って活動しています。本校のよい伝統です。

問い合わせ 教育委員会 指導室 ☎ 0299-48-1111 (内線 2232)

季節を詠む、
時流を詠む

四季の歌

美野里短歌クラブ

朝方は白く清らかな酔芙蓉昼うつろいて染まり華やぐ
秋の花咲き初める道歩み行く移ろう季に心はずみし
庭先でかたき実のつく綿の木に水やりて待つ綿花となるを
家ごもり少し派手めの服を着て気分を変えて夕食作る
戸をくれば白と黄色の彼岸花友より貰い今年も咲けり

小川短歌会

白寿まで永らえし母を思いつつ齢九十こころして生く
テレビ見て歌集を読んどうとうとやっぱり退屈コロナのせいだよ
こぼれ種の青菜育ちて丁寧にかれしよりも褒められている
棕櫚の葉に編みたる芋茎ずいきのき下に今朝はつるせり母をおもいて

玉里短歌会

来年も実る様にと残したる木守の柿は夕日に赤し
断捨離で明るくなった庭先に色とりどりの小菊が香る
借楽園の栓皮葺きなる一の木戸十月桜に迎えられたり
晩秋の夜風涼しく酒酌めば流しギターの街が恋しい
山の尾根におにぎり食べるそばに来て木の皮を食む日本カモシカ

寄稿

今にある喜び君と噛みしめるなれどこの世はうたかたの夢



上野和子	高田久子	石橋吉生	野口初江	松田通喜	正木敦子	石田はる江	根本智恵子	幡谷啓子	中根良子	白根沢清香	碓谷きえ	宇都宮和子	菱沼友江	菱沼清子
------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	------	-------	------	-------	------	------

みづうみ俳句会

冬ざれや包丁みんな光らして
必需品寄せてゆつたり掘炬燵
コロナ禍でどこを向いても冬の空
冬の空那須連峰の雄大さ
ゆつたりと雲流れおり暮の空

みのり俳句会

曾孫の初の一步や秋探し
筑波野の風が風追ふ暮の秋
嵐去り秋を深めてゆきにけり
活けられて芒は風を恋しがる
夕暮れに忙しくひびく虫の声

檸檬の会

宝くじ運なき人に師走風
すすき道肩ぶつけ合うランドセル
急用や寝癖にのせる冬帽子
還らない日曜日やころがる毛糸玉
立冬や靴紐きりりさあ一步

くるみ俳句会

蓮堀りの胸まで沈み水動く
東雲に有明月の輝けり
茜雲小春の夕日納めけり
波に揺れ揺れにまかせて鴨の群
湖風に一寸押されて冬帽子

玉里俳句会

朝風呂や雪の蔵王をひとり占め
まっ赤なり大樹のもとの実南天
はるかなる灯台望む冬の海
庭仕事の父は百歳冬うらら
空おおう銀杏黄葉は千年樹

小美玉川柳会

寒いですふところ通り腹にまで
巢籠もりも中途半端で生き返る
大掃除終活一步前倒し
背に受ける感謝の拍手ハヤブサ2
コロナ禍で寡黙の人がもてる世に

江戸忠男	小林岳悠	阿久津昭夫	石井昭久	橋本昇久	齊藤富子	長谷川光男	矢口友子	鶴町文子	菅谷さい子	松崎淑子	堀内邦誉	福山照子	杉山睦子	城垣睦子	木村小夜子	岡島禮子	網代奈津江	石田敏江	阿久津強	坂井光子	井水あさ子	友水清江	塚田文江	立原千代	茅場久子	三村れい子	長島美昭子	長島美奈子	榎本喜代子
------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------

祝
15歳

小美玉市民の日記念事業 「15歳」誕生日企画を行います

小美玉市は、令和3年3月27日に15歳の誕生日を迎えます。今年度の市民の日記念事業は、新型コロナウイルス感染症対策のため新しい生活様式を取り入れた企画を行います。例年のように会場でお楽しみいただくことはできませんが、情報メディアに舞台を移し、皆さまと一緒に祝いできるよう準備を進めています。企画内容は随時お知らせします。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、企画の中止や変更をすることがあります。

問い合わせ：
秘書政策課（小美玉市民の日実行委員会事務局）
☎0299-48-1111（内線1202、1204）



小美玉市「15歳」
誕生日企画
特設ページはこちら



市民による超地元密着メディア 実証実験開始 タウンジャーナル小美玉が誕生しました

地元情報メディア「タウンジャーナル小美玉」が12月25日にウェブで公開されました。初日の出や地元の飲食店の記事などを皮切りに、今後も順次新しい記事が投稿されます。

記事を担当したのは、公募で集まった市民からなる21名のタウンレポーター。茨城新聞の協力のもと、取材や記事執筆のノウハウを身につけたレポーターたちが記事のテーマ選定、取材、執筆、校正まで手掛けています。

タウンジャーナル小美玉

コロナ禍が続く中、地域のお店やイベント情報へのニーズの高まりを受け始まった試験的な取り組みです。市民が「私のオススメ」を発信することで、地域住民にとって役立つメディアを目指しています。

問い合わせ：
企画調整課シティプロモーション係
☎0299-48-1111 内線1234

記事はこちら



おみくん 4コマ たまちゃん
小美玉暮らし

Vol.5 「にゃんダブル・ライフ」



小美玉の日常をゆる〜く描く4コマ漫画。小美玉のクリエイターが3か月交代で担当します。

つきお

作者紹介 月魚 ひろこ

コンピューターでイラストを描き、陶芸で猫などの動物を作る。家族は夫と6匹の猫。2011年から小美玉市民に。



感染防止対策



広報おみたまは
3つのルールを守って
写真撮影しています

直前まで
マスク着用



撮影時は
会話しない



なるべく
短時間で



知人から小美玉の美味しいものが詰まった贈り物をいただきました。昨年GWに小美玉の皆さんにまちを案内してもらってから、すっかり小美玉ファンです。群馬県 40代

中央高校生が小美玉の魅力を探究する企画いいですね！こういう子たちが地域に関わり、住み続けて魅力を発信してくれるまちづくりを進めてほしいです。つくば市 30代



都内で働く皆さんが悩みに悩み抜いて考えた、小美玉での新しいチャレンジのプレゼンを聞いて、とってもワクワクしました。これから一緒にやっていきましょう！ 40代

文化活動がとっても活発な小美玉市。コロナ禍でも、感染防止対策を万全にしてイベントが開催されます。ぜひ地元で楽しんでみませんか。生活文化課 秋山(入庁1年目)

広報 おみたま
令和3年1月号

編集・発行 小美玉市役所企画調整課
TEL 0299-48-1111 〒319-0192 小美玉市堅倉835
FAX 0299-48-1199 https://www.city.omitama.lg.jp

